

町長賞



▲「アライグマ 地球を洗う」造り物すぎもん会



▲「ワールドカップ パウル君」西上宮アワーズ

議長賞

8月23・24日、地蔵まつり&造り物大会が開催されました。恒例の造り物大会には、10基の出展がありました。現在の社会情勢や環境問題、話題の人物などをテーマにどの団体も製作されていました。中にはソーラーエネルギーを活用したものもあり、レベルの高い作品に、審査員の皆さんは頭を悩ませていました。24日には、天候が心配されましたが、花火大会も無事に開催され、約500発の花火が氷川町の夜空を美しく彩りました。



▲ピアガーデン会場は満席でした

# 地蔵まつり

特別賞



▲「サムライジャパン4年後を占う」語る会



▲「エイリアン」ファーストチーム



▲町区消防団



▲「不況の波を乗り切れ!GO.GOキティ」ディサービス木香



▲「ふくろうと仲間たち」伝承館陶芸クラブ



▲「ゲゲゲの鬼太郎」氷川町商工会

観光物産協会賞



▲「坂えもん ロボット」ロボットクラブ

熊日賞



▲「おいでよ、森のおうちへ」立神峡公園管理組合

商工会賞

# 第5回 ふれ愛スタディ

in大空

友好町を締結している北海道大空町の中学2年生(女満別中学校)と氷川町(氷川中学校 竜北中学校)による人材交流事業が実施されました。

この事業は、雄大な自然が広がる北海道を舞台に中学生による交流を深め、友好関係の発展に寄与し、併せてまちづくりの担い手を育成することを目的としています。

氷川町内の中学生16人と引率4人で8月5日から8月9日までの4泊5日の研修となりました。事前に4回の学習会を開催し、研修の目的などについて理解と心構えを養い、北海道や大空町のことを学び、研修に向かいました。

北海道では、まず道東地区の世界遺産である知床の大自然や、摩周湖に触れました。また、道立北方民族博物館オホーツク流水館 網走監獄博物館など施設見学も行う学習を深めました。

大空町では、中学生・保護者との交流会や藻琴山登山、女満別湖畔でのカヌー・ローボート体験など大空町の大自然を満喫し中学生同士の交流が深まりました。

in氷川

7月30日から8月1日まで、北海道大空町の中学生8人が来町し、氷川町の中学生16人と交流しました。

氷川町では、大野窟古墳見学や梨狩り体験などを行い、立神峡里地公園にてレクリエーションなどを行い交流しました。夕食会では、初体験の流しそうめんなどを食べました。

翌日の午前中に、立神峡での自然学習や勾玉づくりなどを行い、午後からはホームステイを体験しました。ホームステイ先では、ご家族のご好意によりいろいろな体験ができました。



▲交流と絆を深めました



▲大自然の中でのカヌー体験



▲初めての流しそうめん!

一言体験談

●女満別空港に着き、バスに乗って目的地までの間、バスの車窓から見えるのはほとんどが畑ばかりで、その畑の大きさも熊本とは比べ物にならないほど大きく、さすが北海道だなーと思いました。野田翔太郎(氷川中学校)

●知床クルージングで、ヒゲマを見て興奮しているところ力ができて、僕達が北海道に来ていろいろ歓迎しているよかったです。神久 侑紀(氷川中学校)

●大空町団員とこれから会う機会はありませんが、研修旅行中にできた絆を大切にしようと思いましたが、手紙やメールのやりとりをしたり、電話で話したり会えなくてもずっと友達でした。田中 萌絵(氷川中学校)

●いろいろな話をして楽しませてくれたのは大空町の団員でした。みんな優しく、面白い人がばかりでこの人達と出会えて本当に良かったし、これからもずっと友達でいたい。またいつか会いたいと思うくらい楽しく交流ができました。村山 知里(氷川中学校)

●北海道ではアイヌ民族の文化が大切に受け継がれていました。アイヌ民族は、まわりで生活している動物のことをよく考えて生活していたんだなと思いました。楽器も全然違い、まわりの自然を守りながら生活していたことを、見習わなければいけないと思いました。西田 彩夏(竜北中学校)

●僕は、北海道研修で熊本にはない気温や文化や食事も自然と、たくさん体験をできたことをうれしく思っています。北海道での体験を友達などに話してあげたいなと思いました。豊原 慧(竜北中学校)

●僕は、この北海道研修で決まり、ルールを守ること、協力することの大切さを学びました。今後は、学んだことを生かしていきたいです。広田 悠永(氷川中学校)

●研修を終えて北海道の自然・文化歴史を学び、人との交流についても学びました。この学んだことをこれからの生活に十分に役立てていきたいと思っています。横川 裕大(氷川中学校)

●北海道では、アイヌ民族のアイヌ語という言葉があります。しかも、北海道の地名は全てアイヌ語で付けられています。これは、方言ではなくアイヌ民族が作り上げた、独自の文化なのだと思います。古川 大晴(竜北中学校)

●北海道の自然の雄大さを学びました。車の中から、鹿の姿が見られたり、遠くからですが、熊の姿も見ることができました。僕は動物が大好きなので野生の動物を見るのができ、感激しました。宮田 龍介(氷川中学校)

●オシロイシンの滝が思った以上にきれいでした。あらためて写真を見たとき本当にビックリしました。滝の近くはとっても涼しかったです。岩瀬 礼(氷川中学校)

●北海道ではとても日が沈むのが早いのに、驚きました。熊本では、7時過ぎ頃まで明るいですが、北海道では、7時になる前にはもう、真っ暗だったので、驚きました。平木 一圭(氷川中学校)

●熊本とは違い北海道がとても広く感じました。まず、畑の面積がとても広く、熊本の畑とは大きさが全然違いました。それに、まっすぐな道路もびっぴり、先が見えないほどとても長かったです。田上健太郎(氷川中学校)

●知床クルージングがありました。外は、暑かったけど海の上は涼しかったし、すごし寒かったです。船の上では、熊やイルカの大群など野生の動物を見るのができてよかったです。榎 聖菜(竜北中学校)

●北海道は、田畑も広く道も広くてまっすぐで、テレビや絵八がみで見たような景色が広がっていました。貴重な世界遺産の知床をそこにいらした瞬間から涼しさがあったので、景色で感動しました。奥田 啓寿(氷川中学校)

●北海道に着いてすぐ思った事は、「ここが北海道？」と「暑い」の2つです。夏に北海道だったので、全然北海道に来ての美感がわきませんでした。そして、暑すぎました。せっかく北海道に来たのなら涼みたいと心から思いました。しかし、最初に行ったオシロイシンの滝は、涼しいというよりは寒かったです。杉谷 朱里(氷川中学校)